児童・青少年演劇ジャーナル

げき 6

新刊！

編集・発行＝児童・青少年演劇ジャーナル〈げき〉編集委員会　　定価● 1200 円＋税

編集代表＝ふじたあさや

子どもと演劇のよりよい出会いを求めて——

●演劇鑑賞は子どもの何を育てるの？—演劇鑑賞の意義をさまざまな角度から追及。児童・青少年演劇の歴史・広がりを検証。

●いま、どんな劇を子どもに見せればいいの？—児童・青少年演劇評、新作紹介、劇団紹介、子どものための劇戯曲掲載。

●地域の文化活動全体をどう育てたらいいのだろう？—地域の話題、先進的な試み、海外の事例などを紹介。

●児童・青少年演劇演劇創造の課題は何だろう？—演劇創造のための誌上ワークショップや提言を掲載。

第6号も 話題がいっぱい！

人間として生きる力を育てる＝近藤雅雄

［報告］児童・青少年演劇フェスティバル おきなわ［1］＝小林由利子

［講演記録と報告］児演協 人材育成講座
学校で劇を上演することの意味＝ふじたあさや
報告「よりよい児童・青少年演劇をめざして」＝石坂慎二

［劇と批評］“批評対話”の実際 ＝松本則子

［初日拝見］劇団ブナの木『オオカミさん気をつけて』
［劇団訪問］■影絵人形劇団みんわ座（東京）
■関西芸術座（大阪）

［劇評］児童・青少年演劇の舞台から
関 明　劇団かかし座『長靴をはいたねこ』『星の王子さま』
蒔田敏雄　東京ミュージカル・アンサンブル『さんしょう太夫』
岩崎 明　中国児童青少年演劇優秀舞台公演
安住恭子　よく知られた話の劇化—東海地区の舞台から
神澤和明　コーロ『ハンナのかばん』、潮流『それでも明日はやってくる』
土居安子　民族芸能アンサンブル若駒『ずっこけ狂言ばなし どろピカぽん』
七字英輔　「定番」児童演劇の楽しさ

［BOOK］『演出家・熊井宏之の仕事』＝内木文英＋石坂慎二

［連続座談会］第5回
「演劇教科書」編集会議録
＝渡部 淳＋宮崎充治＋ふじたあさや

［インタビュー］自分史としての児童・青少年演劇 6
戦後の人形劇を語りあう！
人形劇団ブーク・功労劇団員 曽根喜一さん
人形劇団ひとみ座・団友 宇野小四郎さん

［戯曲］佐野洋子 原作
『100万回生きたねこ』
脚色＝久野由美

［受賞おめでとう！］
■ 2006 年度日本児童演劇協会賞■
劇団影法師 山崎靖明さん

■ O 夫人児童青少年演劇賞■
劇団たんぽぽ 上保節子さん

■全児演賞■
●正賞＝民族芸能アンサンブル若駒 櫻田舟完さん
●奨励賞＝劇団たんぽぽ 久野由美さん
●奨励賞＝人形劇団ひとみ座 中村孝男さん

［資料］
日本全国／児童・青少年演劇劇団MAP
［資料］日本児童・青少年演劇劇団協同組合調査
児童・青少年演劇
都道府県別観客数調査から

［エッセイ］
カーテンコール
内木文英／清水きよし／北川明光

［追悼］劇団道化森實重雄さん＝林 陽一
［追悼］劇団風の子本間ひとしさん
＝須田輪太郎
［追悼］シアター2+1 仲原明彦さん
＝小山田 昭

定期購読をお願いします！
定期購読の方には毎号郵送いたします。
1 部あたり 1000 円（税・送料込）

●本誌「げき」の刊行には、社団法人日本児童演劇協会、日本児童・青少年演劇劇団協同組合（児演協）、全国児童・青少年演劇協議会（全児演）の三団体が協同して取り組んでいます。
●定期購読は下記の児演協事務局へお申し込みください。

●定期購読お申し込み・お問い合わせは——
児演協事務局　〒160-0023新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎2-4 TEL**03-5909-3064** FAX**03-5909-3065**

発売・**晩成書房**　〒101-0064東京都千代田区猿楽町1 - 4 - 4 TEL**03-3293-8348** FAX**03-3293-8349** mail@bansei.co.jp

---

注文書

●お申込み先は
児演協事務局
FAX**03-5909-3065**

ご注文　冊	●お申込先 **児演協事務局** 〒160-0023 新宿区西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 2-4 FAX**03-5909-3065**
	児童・青少年演劇ジャーナル **げき 6**　2008 年 3 月新刊！ ●定価 1200 円＋税
お名前・劇団名	住所 □□□-□□□□
劇団の場合 ご担当者名	
電話　（　　）	メール　@
定期購読について　いずれかに○印をお願いします。	定期購読・（　）する　・（　）しない